

PRESS RELEASE

令和6年（2024年）3月7日

地域の日本語教育環境の充実に向けた取り組み

1. 日本語教育文法ワークショップを開講

～日本語教師を目指す人に向けた、基礎を実践的に学ぶ講座～

【本件のポイント】

- 日本語教師を目指したい方、地域の日本語学習支援に携わっている方でスキルアップしたい方を対象にした、オンラインによる全8回（4月の毎週土曜・計4日間）のワークショップ。日本語教育文法の基礎を実践的に学ぶ。
- 昨年2月に岩手県、秋田県、山形県の3県から7団体により締結した「なか東北連携」の協議会が後援。
- 同連携協定では、昨年5～12月に地域日本語教育専門人材養成講座を開講。令和6年度も5月から実施予定のため、こちらを受講予定の方で、日本語教育文法に自信のない方には強くお勧めします。

【概要】

外国人労働者等の増加に伴い、日本語教育専門人材の養成・研修は全国で行われています。また、2024年度から日本語教員は国家資格になり、その第一回試験が11月17日（日）に実施されることが決まっています。この資格取得の要件にはなりませんが、本学では、一昨年2月に「岩手県・秋田県・山形県による地域日本語教育専門人材養成事業に関する連携協定」（通称：なか東北連携）を締結し、昨年5～12月には第二回となる地域日本語教育専門人材養成講座を実施しました。同講座は1年以上の日本語教授歴（地域の日本語教室含む）がある人や日本語教師養成講座修了生などを対象に行われ、昨年は3県で合計25名が修了しました（内、山形県は9名）。

同講座を実施したことにより、日本語教師を目指す人が基礎知識を主体的に学ぶ場が必要であることがわかりました。今回も「日本語を教えてみたいけど、外国語としての日本語の文法を勉強したことがない」「文法書は読んだけど教えるには不安」といった方に向けた、日本語教育文法に特化したワークショップを開催します。

【開催要項】

「日本語教育文法ワークショップ」

【日時】 2024年4月13日・20日・27日・5月11日（全て土曜） 時間は全て9:00～12:10

【講師】 内海由美子、今泉智子、仁科浩美（以上、山形大学）・嶋ちはる（国際教養大学）

【対象】 岩手県、秋田県、山形県在住の方（詳しくはチラシをご確認ください）

【定員】 30名 【受講料】 8,000円 【開講形態】 オンラインによる受講者参加型ワークショップ

後 援／なか東北地域日本語教育専門人材養成協議会

※詳細はフライヤーや募集要項をご覧ください。

【「なか東北連携」について】

正式名称は「岩手県・秋田県・山形県における地域日本語教育専門人材養成事業に関する連携協定」。岩手大学国際教育センター、国際教養大学専門職大学院グローバル・コミュニケーション研究科、山形大学学士課程基盤教育機構、公益財団法人岩手県国際交流協会、公益財団法人秋田県国際交流協会、山形市国際交流協会、特定非営利活動法人ヤマガタヤパニカの7者での事業連携協定。

お問い合わせ

学術研究院 教授 内海由美子（学士課程基盤教育院 主担当）

TEL：023-628-4932 メール：yutsumi@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp

